

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2023(令和5)年7月31日

事業所名 日本社会事業大学附属子ども学園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	14	0	①年少時の1クラスには室内トイレを配置している。 ②空き部屋も利用しながら、十分なスペースを確保している。	
	②	職員の配置数は適切である	11	3	①経験年数からベテラン職員には、年長児を主に担当してもらい、新人と組んでOJT実践が積めるようにしている。 ②今年度より、指導員が1名追加になるように職員配置を改善していただき、職員の欠席や研修参加などの際に対応しやすいような体制を整えていただいた。	①職員配置数は国の基準に従っており、制度上の問題はありません。しかし、職員の休暇が複数重なった際や、研修に子ども達が登園している時間帯には出られない等、制約が大きいこともまた事実で、こうしたことに対応しやすい人員配置を実現できるよう、報酬改定を行うべきであるというアクションを、他の施設や施設経営者団体等とともに、起こしていく必要があると感じています。 ②特に(指摘がありました)「近接領域」といえる公立保育園でのフリー保育士の存在など、参考にできるものも沢山あると思います。そうしたことを学んでいくことも、学園職員には求められているのだと感じました。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	13	1	①各グループ内でも子ども達の障害特性やグループの事情に合わせて、生活しやすいように常に環境の整備を行うようにしている。 ②利用者に合わせて環境を整えながら、構造化されている。 ③支援指導に必要なもの以外は室内に置かないよう配慮し、構造化に注力している。 ④35年前の建築であり、「構造化された環境」等建築後日本に紹介されたエビデンスに基づく建築とはなっていない。しかし職員の工夫により、構造化を実現している。	
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	14	0	①登園前・登園後にそれぞれ館内の清掃を行い、適宜室内や玩具等を消毒している。 ②今年度は3グループでのスタートとなったため、空いている部屋も柔軟に活用しながら、安全管理や刺激の調整を行えるよう工夫して過ごしている。 ③室内温度をその場その場で確認しながら、児童が快適に過ごせる空間を作れるようにしている。その日の体調で、不安定になりやすい児童に対して、クールダウンできる部屋を確保している。 ④感染症対策として、玩具や各部屋の消毒を徹底している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	14	0	①その都度職員間で話し合いながら取り組んでいる。 ②園長との面談の機会が設けられている。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	14	0		
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	13	0		
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	13	0	①2年前には3年に1度の第三者による外部評価を受け、結果報告を受け業務改善に繋げている。次回第三者評価は2024年度実施 ②2020(令和2)年度受審済	①第三者評価やこの自己評価、第三者委員の方からのご意見をふまえ、ささやかでも改善できることから、改善していく所存です。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12	2	①研修情報の回覧など、情報を頻繁に提供してくれている。 ②昨年度も、zoomによる研修を活用しながら受講した。 ③回覧物を通して、必要な情報を収集したり、学ぶ機会が得られたりしている。 ④研修告知の電子メールや郵便等は、回覧により職員に周知されている。	①学園には様々な機関や事業所さん等から、多くの情報(郵便物や電子メール等)をいただいております。その多くを職員の皆様にも回覧し、情報を得てもらうことや、知識として学んでもらうことを意識しています。 ②さらに、園長以下各職員が情報収集をし、職員への回覧が必要と思われる情報については、逐一回覧する等で、情報の共有を図っています。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	14	0	①十分な期間を確保し、丁寧なアセスメントを心掛けている。 ②アンケートや面談で子どもと保護者のニーズについて確認し、課題を分析している。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	13	0		
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	12	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容 又は改善目標
適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	14	0	①計画書に沿いながらも、その都度子どもの様子に応じながら対応している。 ②発達支援計画が日々の支援の根幹となる。 ③支援計画に合わせた支援を行い、子どものあゆみで評価をしている。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	14	0	①副園長にも指導・助言を仰ぎながら、グループ担任同士で情報共有や意見交換しながら、行っている。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	14	0	①子ども達の様子をアセスメントしながら、固定化しないように工夫する部分とあえて固定化することで、子ども達が見通しを持てるようになる分のバランスを取るようになっている。 ②園児が活動の見通しを持てるように定番の活動を行い、スモールステップを踏めるようにしながら、季節の行事にそくしたプログラムも行っている。 ③昨年度は、秋の遠足等コロナの影響で中止していた行事も、調整を行った上、可能な範囲で再開をすることができた。	①一人ひとりのお子さんの成長にあわせ、リスクやより伸ばせるところ等は、日々アセスメント(やそれに基づく支援)を更新していく位のつもりで、取り組んでいると思います。 ②行事については、新型コロナウイルス感染症による感染が、残念ながらまだまだ油断できない状況であることから、実施に慎重な判断を要するものや、感染対策を施してからの実施等、工夫を重ねているところです。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	14	0	①朝の個別指導の時間を有効に活用して、グループ指導場面に活かすことができている。 ②朝の個別指導の時間も活用して作成している。	①集団生活になってしまうことで、どうしても「個」が見えにくくなることもあります。個別での対応時間を工夫して捻出する等で、そうした欠点を補っているところです。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	14	0	①事前に職員間で打ち合わせしながら役割分担もしつつ、子ども達の体調によっては職員間で連携しながら臨機応変に対応できるようにしている。 ②朝の朝礼で全体確認を行い、担任同士で支援内容について確認、調整を行っている。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	13	1	①職員同士が打ち合わせしやすい机の配置になっていることもあり、その日のうちに次の支援に繋がられるように打ち合わせを行っている。 ②子どもたちと直接かかわっていない場面での情報も共有できているので、自身の指導にも役立てることができている。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	14	0	①日々の支援を記録し、振り返ると共に、子ども達の成長や課題についてその都度、職員間で共有できるようにしている。 ②1日の様子について情報を共有し、支援記録の作成を行って今後の支援に繋げている。 ③特に摂食指導において、記録を見返すことで、食事量の調整や指導方法の改善ができている。	
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	14	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携、関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12	1		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	14	0		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6	2	①保護者も交えて医療的対応が必要となった際のチャートを作成し、指導室の分かりやすい場所に掲示している。	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	8	2		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	0	①本園からの転園の場合は、保護者・転園先の園へ引継ぎの用意があることを予め伝えている。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	14	0	①資料の作成や引き継ぎを行っている。 ②近隣の特別支援学校とは、入学式の前に担任同士で引継ぎを行うことが定着している。	①近隣自治体の教育委員会とは、特に教育相談を担当している方と密接に連絡を取り合い、必要な情報共有を行っています。スクールソーシャルワーカーが増えてきた中で、この先スクールソーシャルワーカーとの連携もまた、検討されていく必要があると思われます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	4	①障害児支援利用計画のモニタリング等、他事業所の職員が行動観察を行う際は、話し合いの時間も設け、情報を共有すると共に助言を受けている。	①近隣他施設(事業所)とは、モニタリング等での関わりは深いものの、事業所間での情報共有の場を設ける等の連携は、もっと検討されてよいかもしれません。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	10		

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	12	0		
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	14	0	①朝、帰りの送迎時や連絡帳等を活用して、保護者の方々と子ども達の様子などの情報共有を図るようにしている。 ②登降園時に家庭と園での様子をそれぞれ情報共有し、連絡帳や面談も活用している。 ③送迎の際や、連絡帳、面談などを通して情報を共有できるようにしている。 ④朝の受け渡し時に体調確認、帰りにも体調や1日の様子をお伝えしている。	①送迎時に保護者の皆さまと、お子さんの情報共有を図る時間を設けているところ。この時間の他に、個別相談や懇談会等の機会も設けておりますが、このあたりにつきましては、保護者アンケート実施時に確認したいと思います。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	14	0	①担任もペアレントトレーニングでの様子を共有させてもらいながら、保護者支援を行っている。	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	14	0	①新規契約は90分以上時間をとり、丁寧な説明を心がけている。	
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	14	0		
34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	14	0	①朝・帰りの送迎時や連絡帳、家庭訪問、個別面談など、保護者の方のお話を聞けるような体制を整えている。 ②連絡帳や面談を活用している。 ③登降園時にコミュニケーションを図る機会を設け、家庭訪問や定期的な面談、連絡帳や希望に応じた面談を行っている。	
35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	12	1	①定期的な保護者会やグループ別の懇談会、家族参加の行事がある。 ②家族交流会等の開催 ③同窓生と在園児の保護者間の交流という意味では、昨年度からコロナで中止していた同窓会の行事を可能な範囲で再開できたことも大きいと感じる。	①57年の歴史がある学園です。多くの卒園児さんがおられ、様々な形で活躍されていることは、学園としてとてもうれしいことです。今学園で過ごしている子ども達や保護者の皆様にとっても、資源になっていることと思います。この先も、卒園児の皆様との交流を通じ、バトンを引き継いでいけたらと思います。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	13	0	①連絡帳等の使用	
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	14	0	①年2回会報を発行し、在園の保護者、同窓会員にお配りしている。	
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	14	0	①職員は当然のこと、実習生にも守秘義務についての説明を徹底している。また、保護者に対しても自分のお子さん以外の子の個人情報の取扱いについての留意を呼びかけている。 ②個人情報の取扱いには、細心の注意を払うようしており、鍵のかかる場所で、個人情報を管理している。 ③定期的なUSBのバックアップや施錠できる場所での保管を徹底している。	①守秘義務については、日々の業務の折や、実習生に対しては実習指導の一環として教育する等を行っています。 ②個人情報の取り扱いについては、鍵のかかる場所に紙ベース・パソコン関連とも保管することとしている他、定期的なバックアップを実施し、消失リスクにも備えています。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	14	0	①子ども達、保護者の方々それぞれに適した伝え方を把握し、個々に適した伝え方を意識して接するよう心掛けている。 ②発語の有無に限らず、子どもが自分の意思を表現する方法を会得できるよう支援し、共感的に応じている。 ③ストレングスの視点を大切にしながら、できないことばかりを伝えるのではなく、良かった点、成長している点、頑張れた点などを積極的にお伝えできるようになっている。	
④⑩	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っている	6	8	①園の行事には、第三者委員を新型コロナウイルス感染症拡大前(2019年度以前)は必ず招待をしていました。各行事には学生ボランティア、過去の実習生等にも声かけを行っておりました。 ②新型コロナウイルス感染症が五類になったこともあり、①のような取り組みを、再開していくか否かについては、感染の状況を見ながら検討していく方向です。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	④①	緊急事対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	14	0	①その都度マニュアルも更新しています。	①毎回の訓練実施後、流れや子ども達の様子等を記録に残した上で、訓練方法や子ども達の様子から想定されるリスク等を検討し、より効果的な訓練となるよう、訓練担当者を中心に検討しております。ただ、さらなる工夫の余地はあるかもしませんので、他の施設・事業所からの情報収集等を検討していきたいと思えます。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	14	0	①子ども達も月に1回避難訓練を行い、地震、火災、水害などを想定した訓練に年間を通して取り組んでいる。 ②地震・火災・水害等、色々な災害を想定した避難訓練を毎月設定している。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	14	0	①しっかりと保護者、看護師、担任と情報共有をするようにしている。 ②入園時や受診後など、適宜情報共有している。	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされている	14	0	①指導部、給食部、看護師で情報を共有しながら、医師の診断に基づく対応を行った。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13	1	①その出来事を振り返り、検証することで次回に繋げて、日々の指導力の向上に繋げられるようにしている。	①ヒヤリハットについては、発生直後には副園長・園長に情報を入れることを、各職員が意識していると思えます。ただ詳細についての周知が全職員に適切になされているかについてを検証し、より効果的な周知方法を模索していく必要があると感じます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	14	0	①資料や本の閲覧などでの情報提供、研修も実施している。 ②令和4年度の義務化に伴い、虐待防止委員会を設置し、会議を開催し、又、従業員への研修を実施した。 ③虐待防止委員会の設置が義務化されたこともあり、昨年度は施設全体で虐待防止研修を行った。	①虐待は人権侵害行為であり、学園ではあってはならないことという認識を共有し、その上で他施設における虐待の調査(第三者委員会)の資料を全職員に回覧する等、「なぜ虐待が起きてしまったのか」等を、各自が考察するようにする等、日々の支援を振り返りつつ虐待を意識できるようにしています。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	12	1	①個別の発達支援計画書には記載していないが、入園時に説明を行っている。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。